

# 井原鉄道活性化協議会

平成22年3月24日設置

総社市・倉敷市  
矢掛町・井原市  
福山市



## 概要

少子高齢化やモータリゼーションの進展等により利用者が減少し、鉄道事業の経営状況は年々厳しさを増す中、井原鉄道及び沿線地域の活性化のためには効果的かつ持続可能な利用促進策を推進するとともに経営の合理化を含む経営改善策の取り組みが重要である。そこで、様々な経営課題の検証や詳細な需要予測・収支見通し等調査を実施し、経営の安定に資する長期的な経営見通しのもと、井原鉄道の維持・活性化及び沿線地域の活性化に資する総合連携計画を策定する。

## ○地域の公共交通(井原鉄道)の現況

- 岡山県西南地域と広島県備後地域を結ぶ鉄道(営業キロ41.7km)。通勤、通学、通院等に利用される沿線住民の生活の足
- 利用者減(毎年110万人前後で推移してきた中、平成20年度は105万人を割り込む状況)
- 運行を維持していくため、関係自治体が鉄道施設に係る基盤設備の維持について支援を実施

## ○地域公共交通(井原鉄道)の課題

- 利用者の低迷等により経営改善が進まず、累積損失が増加する中、この早急な改善と将来にわたる安定的な経営の確保が課題

## ○調査の主な内容

- 井原鉄道の現況調査  
→沿線の環境、現状・課題、利用実態の調査
- 経営合理化検討調査  
→需要予測・収支見通し、運行形態の検証、運行管理費の削減方策  
直営事業の見直し、業務執行体制の課題等の調査
- 経営安定化シミュレーション調査  
→基盤設備維持費の削減方策
- 利用促進策調査  
→地域住民の利用促進策、観光、他交通機関との連携方策等

## ○地域公共交通総合連携計画の構想(今後検討)

- 効果的かつ持続可能な利用促進策(日常利用・観光利用)
- 鉄道を活用した地域の活性化
- 経営の安定化に向けた合理化策 等

## 【井原鉄道活性化協議会】

構成団体： 井原鉄道(株)・岡山県・広島県・岡山市  
倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・矢掛町・福山市

